

サプライチェーン研究会 2012年度 第5回会合 (議事録)

1. 会合概要

- (1) 開催日時：2013年2月8日(金) 17:00 ~ 18:00
- (2) 場所 所在地：富士通総研 本社事務所 (ニューピア竹芝サウスタワー) 11F
会場名：来賓D
- (3) 今回の議長役：吉田
- (4) 議事録作成者：阿部
- (5) 出席者 (敬称略)：麻生、奥村、金井、小友、廣本、小山、佐藤、吉田、阿部
欠席者 (敬称略)：伊藤副理事、久野、寅屋敷、永木、橋本、前田、服部、森
- (6) 主要な決定事項
 - ① 次回会合では、研究会発表に向けて研究会の成果を整理する。
- (7) 次回開催予定
 - ① 開催日時：未定 (別途、候補日を提示し検討)
 - ② 場所：開催日時が決定次第、通知する。
- (8) 配布資料
 - ① 前回議事録 (20121208 開催:第4回サプライチェーン研究会) (阿部)

2. 議事内容

「テーマ2. サプライヤに対する BCM 調査 (アンケート)」について

- (1) サプライヤ調査を実施する際の考慮すべき事項について議論した。
 - ・ サプライヤを評価する評価軸について、検討する。
⇒ サプライヤの評価軸には、サプライヤを評価する際に必要な要素が網羅されているかどうか重要である。
 - ・ 評価軸の大きな柱として
 - 拠点リスク：災害発生時の拠点におけるリスク評価
 - 対応力 (供給力、事業継続能力)：災害発生時における対応力評価がある。
 - ・ サプライヤによる生産が可能な場合においても、物流停止が考えられるので、物流リスクも考慮する必要がある。
 - ・ サプライヤ被災による影響範囲をどこまで考慮するか。
(サプライヤ被災による影響範囲で、考慮すべきリスクと対応策が違ってくる
どこまでの影響範囲で考えるかは今後の検討課題である)
⇒ 今後の検討すべき課題である。

- ITに関する事業継続をどう考えるか。
 - ⇒データセンターを所持している企業とそうでない企業で考えるべき対応事項は違う。
 - ⇒データセンターを所持していない企業においても、自社のネットワークが利用不可となるので、その点を考慮した事業継続計画を検討する必要がある。
- 次回は、5月に開催予定のBCAO研究発表会に向けて、議論してきた内容を整理する。(何を発表するかを検討する)

以 上